

株主・投資家との対話の状況

(2025年4月～2026年3月)

2026.05.26

1. 対話に係る社内体制

(1) 担当組織、情報連携の体制

株主・投資家の皆様との対話は、管理本部長を責任者として、管理本部コーポレート・コミュニケーション部が行っています。

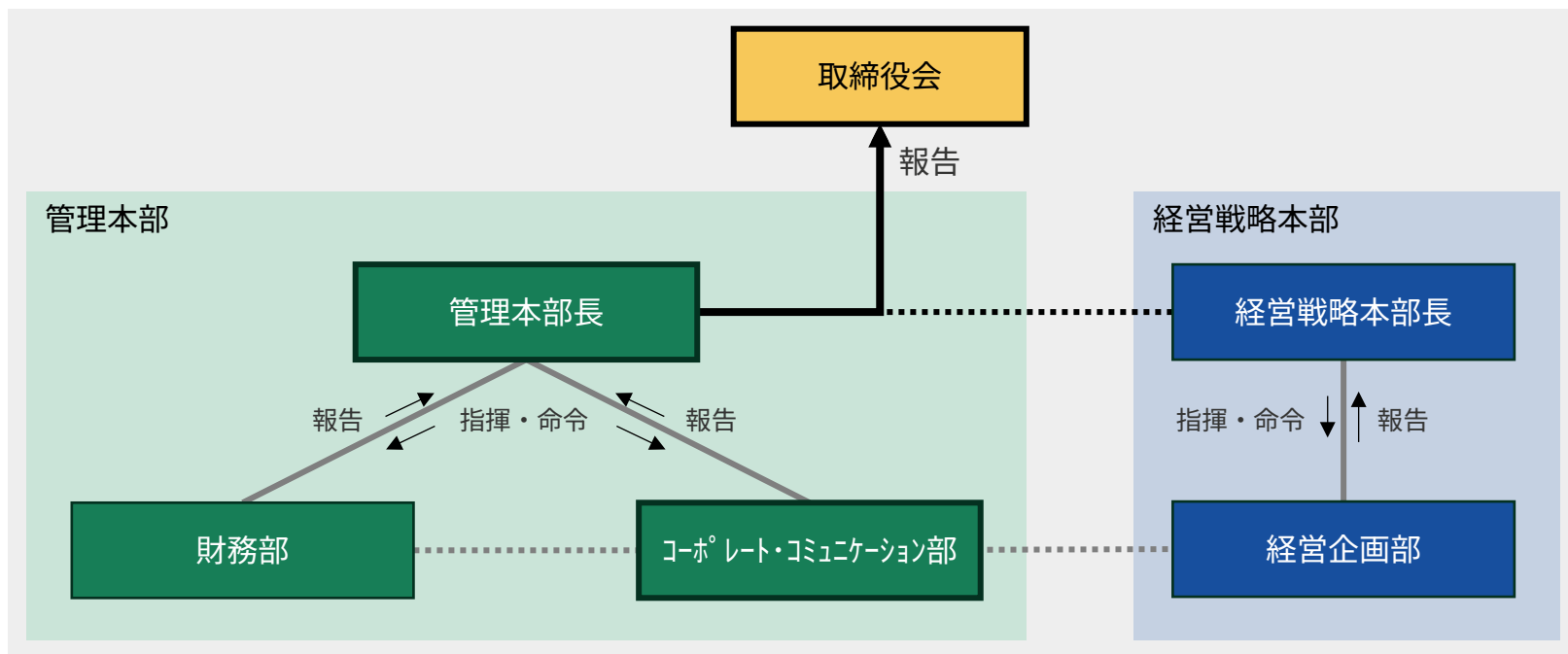
コーポレート・コミュニケーション部は、「企業イメージおよび企業価値の向上のため、ステークホルダーへの情報発信や対話を通して戦略的なコミュニケーション活動を行う」ことを目的として、2019年に設置しました。

対話にあたっては、事業環境や、当社の経営戦略・財務戦略・業績等について、統一見解をもって正確にお伝えできるよう、経営戦略本部経営企画部、管理本部財務部と定期・不定期にミーティングを行っています。

(2) 対話内容の経営陣へのフィードバック

取締役会に対しては、「IR面談実施報告」（毎四半期）および「SR面談実施報告」（年1回）を作成し、主な意見、当社に対する評価等を報告しています。

対話より得た知見は、施策検討上の参考としております。



2. 対話の実績（2026年3月期）

活動	実績	内容	説明者
定時株主総会	2025年6月27日開催	<p>8名の株主様より、ご質問をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手社員および中間管理職のやりがいの向上に向けた取組み ・海外工事に特有のリスク ・新卒・中途採用の実績と他社比較 ・米国政権の関税政策および為替の動向が及ぼすリスク ・現在の広告戦略がもたらす効果 ・インフラの老朽化に対する考え方 ・建築事業におけるシンボリックな案件等への取組み ・免震建築物の普及促進に対する取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役9名 ・執行役員4名
決算説明会	2回 (2025年5月、11月)	<p><対象> 証券会社アナリスト、新聞記者、機関投資家、建設業界団体 等</p> <p><テーマ> 中間決算・本決算の概況、事業環境、中期経営計画の進捗状況等（P.3参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社長 ・管理本部長 ・財務部長
IR面談	66回 (うち外国法人25回)	<p><対象> 証券会社アナリスト、機関投資家 等</p> <p><テーマ> 決算の概況、事業環境、中期経営計画の進捗状況等（P.3参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・コミュニケーション部
SR面談	24回 (うち外国法人6回)	<p><対象> 株主である機関投資家</p> <p><テーマ> 中長期的な事業戦略、成長投資、資本政策、ESG等（P.3参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理本部長 ・経営戦略本部長 ・コーポレート・コミュニケーション部長

3. 対話の主なテーマ（2026年3月期）

（1）事業環境

- ・ 今後の見通し、需給バランスの動向
- ・ 用途、地域（国内・海外）等における注力分野
- ・ 米国関税政策、イラン・ウクライナ等の影響
- ・ 受注時採算、物価上昇分の価格転嫁の状況
- ・ 業界全体の高齢化・担い手不足への対応

（2）業績

- ・ 売上高増加の要因分析（物価上昇／事業量増加）
- ・ 成長投資、技術開発等の寄与分の定量化
- ・ 完成工事総利益率の中長期的な目標水準
- ・ 販売費及び一般管理費の増加要因、今後の見通し
- ・ 連結子会社の状況

（3）資本政策・株主還元

- ・ B S マネジメント：自己資本の水準
- ・ 政策保有株式：中長期的な保有・縮減方針、縮減状況、売却資金の用途
- ・ 成長投資：計画と実績、今後の方向性（分野・規模等）
- ・ 株主還元：今後の配当水準、自己株式取得への考え方

（4）E S G ほか

- ・ G H G（温室効果ガス）の削減状況
- ・ サプライチェーンを含めた人材確保
- ・ 人的資本投資の内容、その効果（エンゲージメントスコア）
- ・ 女性社員からの役員登用への期待
- ・ 後継者計画